

府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進協議会(第2回) アンケート調査へのご意見と対応一覧 資料 2

区分	No	ご意見	旧問	新問	回答(事務局)
全体に関する こと	共通して検討すること	1 並行して、地域福祉計画・福祉のまちづくり計画、障害者計画・障害福祉計画でアンケート調査との共通項目を設定する。			
		2 12種類で問の文章や選択肢が不統一のところがあるが、次回までに修正する。(世帯構成等のフェイスシート項目 ⇒等の誘導方法等)			
	調査票のボリューム	3 全体的な印象として、質問項目が多すぎる。回答者は途中で息が切れるのではないかと。調査①「第2号被保険者調査」では問が45もあり、もっと多い調査もある。	-	-	質問数はページ数が18ページを超えないよう、また⑫以外は、問が40問を超えないよう、優先度を考えて削減し、訂正・修正を行いました。
		4 40、50の設問があるアンケートは個人的には多いと思う。まとめられるものはまとめられる方がよい。	-	-	
	調査票の図式化	5 説明は文章だけではなく、できるだけ図式化した方がよいと思う。目で見て、即、判断できるような資料づくりも1つの方法と思うので、時間があれば検討していただきたい。	-	-	町名や保険料段階は直接記入していただく形式にしたり、矢印で誘導してわかりやすく試みました。また、最終的に空白欄にイラスト等を添えたいと考えています。
	用語解説	6 地域包括支援センターについては解説のある調査票とない調査票とがある。調査全体に簡単な解説を付けるなどの配慮が欲しい。	-	-	分かりやすい言葉に置き換えられるものは置き換え、また、認知度をたずねる質問で影響があるもの以外には、難しい固有名詞に解説をつけました。
		7 文字の多い解説はボリュームがさらに多くなるので、配慮してほしい。	-	-	例 ・地域包括支援センター ・小規模多機能型居宅介護 ・地域密着型サービス ・ボランティア ・NPO など 例 ・選択肢、認知症対応型生活介護やショートステイ、グループホーム等への括弧書きでの説明
複数の調査票 にまたがること	認知症の解説表記をわかりやすく	8 認知症の症状で中核症状、周辺症状という言葉を使っているが、一般の人が分かる言葉なのか。調査③「介護予防に関する調査」の問14の選択肢2に「中核症状」、「周辺症状」という言葉ある。分かりやすい表現にする必要があるのではないかと(調査②「高齢者一般調査」問9も同一質問)。中核症状の前に「もの忘れから来る・・・」、周辺症状の前に「身体状況や環境に影響される・・・」などの文章があるので、全く分からないというものではないが。	①問18 ②問9 ③問14 ⑧問2	①問13 ②問7 ③問16 ⑧問2	
		9 問18 認知症の症状についての質問 ○中核症状と周辺症状についての例示はこれでよいのか？ もの忘れを中核症状と言って良いのか？周辺症状の例示は？ たとえば、「記憶障害、時間や場所がわからなくなるなどの誰にでも共通の中核症状と、妄想・幻覚・徘徊など個人差のある周辺症状」の方がわかりやすいかも。			ご教示いただいた文例を参考に、修正をしました。(「中核症状」と「周辺症状」を言う言葉は使わないで解説しました)
	保険料段階について	10 保険料段階について第1～第12段階のいずれかの回答を求めているが、その意図を教えて欲しい。ボリュームが多い中で敢えて保険料段階についてアンケートで聞く必要があるのか			保険料段階の設問は、所得階層別に、サービスの利用意向や利用料の負担感に違いが出るものと考え、幾つかの調査で設定することとします。
		11 個人的には第4段階以上なのか以下なのか、それが分かればよい。	②問32 ④問4 ⑤問12 ⑥問10	②問31 ④問4 ⑥問10	保険料段階が多段階化しているため、段階を直接たずねる質問とします。その回答状況も認知度の一環として考えたいと考えています。 なお、⑤施設サービス利用者調査では保険料段階の回答は難しいと考え質問を削除しました。
各調査票について	調査①「第2号被保険者調査」	13 問2の身長、体重は他の調査でも聞いているが、どの項目とクロスするのが良く分からない。必要な質問か。	問2	削除	BMIを算出し、メタボとの関連を見る項目にしたいと考えましたが、ご指摘があり、またボリュームを考慮して削除しました。
		14 問3、4の介護認定や障害者手帳の有無は健康づくりのところです。健康づくりとどう関係があるのか。	問3、4	移動	要介護認定や手帳の有無は「フェイスシート」のため、欄を移動しました。
		15 問8、9については先程、ご指摘もあったが、外出を平日に限定する必要はないと思う。	問8,9	問5、6	「平日」ではなく「日ごろ」としました。
		16 問8 「平日の日中には」をカットする。	問8,9	問5,6	「日ごろ」としました。
		17 問9 「平日の」をカットする。	問8,9	問5,6	「日ごろ」としました。
		18 問15、16、17は生活習慣について聞いているが、うつやストレスなど、決めた聞き方はいかがなものか。	問15、16、17	問12	旧・問15と16はボリュームの関係もあり、また文脈上唐突であったため削除しました。旧・問17(新・問12)は「こころの健康に必要なこと」と言う内容で再度整理して、設定しています。
		19 問15,16のストレスや休養への問はマイナス面だけを聞いている。どのようなクロスを考えているのか。	問15、16	削除	旧・問15と16はボリュームの関係もあり、また文脈上唐突であったため削除しました。旧・問17(新・問12)は「こころの健康に必要なこと」と言う内容で再度整理して、設定しています。
		20 問18は認知症について聞いているが、このような聞き方は誘導。配慮が欲しい。	問18	問13	認知症に対する啓発を目的として設定している項目であり、他の調査でも同様にたずねていることから、そのままとさせていただきます。
		21 問23 「7. 特別養護老人ホーム」、「8. 専門職の育成」を追加する。	問23	問18	それぞれ、選択肢を追加しました。
		22 問25の近所づきあいについての問は、選択肢をみると、近所づきあいや交流は支え合いのために必要という流れで誘導している感じがする。近所づきあいや交流があると、二次的な産物として何かあった時に支え合いや助け合いができるのであって、困った時に助け合うために交流や近所づきあいをしているのではない。	問25	削除	「地域のつながり」や「協働」について、別途、地域福祉計画や障害者分野計画と共通設問を設定したため、本質問は削除しました。
		23 問31で災害時にどんな活動をするか聞いている、選択肢に「高齢者、障がい者へ声かけ」とあるが、災害に強いまちづくりなどの経験によると、声かけだけでは役に立たない、声をかけて避難所まで連れて行かないと意味がない。	問31	問25	新・問25の共通質問では「声をかけて避難所まで連れていく」ではなく「避難所での支援活動」という文言とさせていただきます。
		24 問41の介護保険制度は社会全体で支えるしくみであり、しくみについて聞いているが、財源まで聞く必要があるか	問41	問36	財源の選択肢を削除しました。
		調査②「高齢者一般調査」	25 F5-4で「子どもと同居していない人」に「近くに住んでいる子ども」の距離をたずねている。これは頼れる親族の有無をたずねている問と思うので、必ずしも子どもに限定する必要はないと思う。子どもがいても甥・姪と親しい人もいるし、子どもが遠くにいたり、子どもと没交渉の人もいる。その人を取り巻く頼れる親族、社会資源を把握する目的なら、子どもに限定しなくても頼れる親族がいるかどうか、たずねる方がよいと思う。	F5-4	F7
	26 F5-4は、先程指摘があったが、子どもに限定する必要はない。子どもは親を助力すべきという観点が強すぎる。	F5-4	F7		

府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進協議会(第2回) アンケート調査へのご意見と対応一覧 資料 2

区分	No	ご意見	旧問	新問	回答(事務局)	
	27	問4の身長・体重はなぜ聞くのか、先程指摘したとおり。	問4	削除	BMIを算出し、メタボとの関連を見る項目にしたいと考えましたが、ご指摘があり、またボリュームを考慮して削除しました。	
	28	問5「①心と体の健康チェック」は府中市が年1回行っていて、市が案内を送っているものなので、利用している、していないというものではない。	問5	問4	①を削除し、以下の項目を繰り上げました。	
	29	問5-1「8. 困ったときにいろいろな情報が得られる」を追加する。	問5-1	問4-1	追加しました。	
	30	問11「7. 特別養護老人ホーム」、「8. 専門職の育成」を追加する。	問11	問9	追加しました。	
	31	問14で地域活動について聞いているが、活動は様々な活動がある。選択肢1~8はどういうことを聞きたいのか良く分からない。もう少し活動内容を聞く質問に絞った方がよいと思った。	問14	問15	前回調査と同じ選択肢であり、比較のためそのままとしました。	
	32	問17-1 ○この質問は何を明らかにしたいのか？自分の知識や技能、地域に貢献するなどの質的なことを重視するのか、収入を重視するのか・・・を聞きたいのか？ ○選択肢が同じ内容になっている	問17-1	問19-1	知識と技能、地域貢献と、収入の関係をたずねており、選択肢が若干わかりにくいですが、前回比較のため、そのままとしました。	
	33	問21(③の問22も同じ) ○65歳以上の人に聞いていて、選択肢6の「子どもの預かり」とは？	問21	問12,13	「子どもや介護が必要な家族等」としました。	
	34	問39 ○困りごとの内容は選択肢より上に来たほうがわかりやすい。 ○選択肢8 いない(問30へ進む)は問40では？	問39	問38	困りごとの凡例の位置が選択肢の上に来るよう修正しました。	
	調査③「介護予防に関する調査」	35	「介護予防」という言葉は業界用語ではないか。分かりやすく言えば「要介護の予防」ということで、この言葉なら分かっていたのではないかと 思う。それから問9-6と9-7に「介護予防プラン(マイプラン)」とあるが、これは市民が分かる言葉なのか。市民の視点に立って用語を考えた方がよい。 寝たきりや認知症など、介護を必要としないよう、介護予防・・・という説明が頭に出てきていれば、分かりやすい。文章の中に出てくるのはどうか。介護予防の意味が定着しているなら、それでよいか。	全体		府中市では「介護予防」に力点を置いた施策を進めており、介護予防と言う言葉も、「介護予防事業」「介護予防推進センター」等の名称等も通して積極的に使っています。これまでの調査でも「介護予防」と言う言葉を使っていたので、今回もこの言葉を使うことといたします。ただし、「介護予防プラン(マイプラン)」と言う表現はわかりにくいので、解説をつけることとしました。
		36	介護予防という言葉はどう解釈して良いのか分かりにくい。副会長が言われたように要介護にならないための予防ということだが、一般市民としては介護予防と言われた時に、その意味を分かっている人は少ないと思う。結局、疑問を持って深く追求している人はいないからかと思う。	全体		
		37	介護予防について、ここに示されている事業については知らない方も多いと思うが、介護予防という言葉は、ある程度理解されているのではないかと 思われる。	問4		
		38	F5-1(④の調査も同じ) ○一人暮らしの人には聞かなくていいのか？ 一人暮らしでも、友人との交流や子どもとの交流など積極的に交流している人はいるのでは？	F5-1	F7	
		39	現場で働いている立場としては、元気な方を介護予防に誘うと抵抗感があるように思う。問9には介護予防事業が示されているが、ここに「介護予防という言葉に抵抗があって参加しない」というような選択肢があってもよい。言葉としての理解はあるが、言葉への抵抗があるということは承知しておいた方がよい。とりわけ、問9で示された事業は限定的な介護予防であり、本来、規則正しい生活、健康的な食事など生活支援をしていくことであれば、介護予防を狭く考えない方がよいと思う。ただ、調査の実施は、市民の意識を啓発する意味もあるので、副会長のご意見を心にとめて議論していく必要があると思う。	問9-1	問9	「介護予防と言う言葉に抵抗がある」という選択肢を追加しました。
		40	介護予防は広義と狭義の捉えかがあるというご意見と思うが、市民はなんとなく広義で捉えていると思っている。副会長は介護保険づくりに参加された立場から狭い意味での介護予防に関する発言をされたと思う。介護予防は狭いマイナスイメージでなく、健康維持などプラスの考える方で捉えて行くのがよい。「介護予防という言葉に抵抗感がある」というような選択肢も入れた方がよいとのご意見があった。他にご意見があれば言っていただきたい。	問9-1	問9	「介護予防と言う言葉に抵抗があるから」という選択肢を追加しました。
41		問6に外出の質問があるが、マイナスイメージの回答ばかりである。外出の少ない人に聞くという限定もしていない中で、外出する理由を「1.特に負担に感じない」～「6.身体が不自由で、外出したくてもできない」という選択肢でよいのか気になった。	問6	問6	外出に関するプラスとマイナスイメージの両面の選択肢を設定しました。	
42		介護予防の高齢者への質問なので問4、問5の外出について、平日に限定しているが、その理由を教えて欲しい。平日は家にいるが土日に出かける方もいるのではないかと、高齢者の実態に即した問なのかどうか気になった。	問4.5	問4.5	「日ごろ」としました。	
43	問4. 問5「平日の日中には」と「平日の」をカットする。	問4.5	問4.5	カットしました。		
44	問9-1「11.介護予防という言葉に抵抗感あり」を追加する。	問9-1	問9	「介護予防と言う言葉に抵抗があるから」という選択肢を追加しました。		
45	問9-6 9-7の設問が分かりにくい。	問9-6 問9-7	問11	介護予防プラン(マイプラン)の説明を加えるとともに、流れが分かるよう修正しました。		
46	問18「7. 特別養護老人ホーム」と「8.専門職の育成」を追加する。	問18	問20	追加しました。		

府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進協議会(第2回) アンケート調査へのご意見と対応一覧 資料 2

区分	No	ご意見	旧問	新問	回答(事務局)
	47	問29 ○困りごとの内容は選択肢より上に来たほうがわかりやすい。	問29	問30	困りごとの凡例の位置が選択肢の上に来るよう修正しました。
調査④「介護保険 居宅サービス利用 者調査」	48	問6の前後で「一カ月の利用料」について聞く。 (現在の負担額、可能な負担の範囲)	—	問5、6、 7	介護保険サービスの利用料の負担を尋ねる設問を設定しました。
	49	問6で介護保険サービスの利用限度についてきいているが、今、在宅でサービスを利用している人の切実な問題は、利用料の負担であり、前の調査では月額1万円以内、1万5千円まで可能、2万円以上というような設問があったと思うが、今回、負担感について聞いていないのは、何か理由があるのか。保険料段階よりはサービス利用料の負担を聞いて欲しい。	—	問5、6、 7	介護保険サービスの利用料の負担を尋ねる設問を設定しました。
	50	問21(⑥の調査も同じ) ○困りごとの内容は選択肢より上に来たほうがわかりやすい。 ○選択肢8 いない(問30へ進む)()内は知らない	問21	問22	困りごとの凡例の位置が選択肢の上に来るよう修正しました。
	51	問24 何が必要か、又はどんなことが不安か。	問24	問27～ 30	地域福祉計画、障害者計画のアンケート調査との共通質問を設定し、その中で、不安なこと・必要なこと等を尋ねた。
	52	問24で「災害時があったらどのような活動をしたか」聞いている。高齢者一般調査と同じ質問だが、居宅サービスを利用している人への質問としてはミスマッチではないか。住民として地域参加ができるかにウエイトが置かれ過ぎているように思う。今後の市の施策を考えなら、むしろ、災害時に何が不安で、何が必要と思うか、最初に何をしたいかをリアルに答えていただけるようにすべきではないか。それを施策に反映していくスタンスがあってもよいのではないか。	問24	問27～ 30	地域福祉計画、障害者計画のアンケート調査との共通質問を設定し、その中で、不安なこと・必要なこと等を尋ねた。
	53	問27から介護者への質問となっている。問34の介護の負担感や問35の介護者支援策をどの調査でたずねるか。このような質問は市独自のものか、それとも他の自治体や国でもこのような問を設定しているのか。	問27～	問32～	サービス利用者調査、介護者調査の最後尾でたずねたいと考えています。介護負担に関しては他の自治体でもたずねているものがあります。
	54	問29の介護の問題は、先程申し上げたように、マイナスの選択肢ばかり。問題を把握するのは大切だが、介護して良かったという面も聞いて欲しい。	問29	問41	介護負担だけでなく、「介護して良かったこと」を尋ねる質問を追加しました。
	55	問32の認知症の診断は「受けている」「受けていない」だけだが、何科の先生の診断を受けたかも聞く方がよい。精神科医、内科の先生など聞くとう違いが出てくる。	問32	問38-1	診断をした医師の診療科を尋ねました。
	56	介護者の負担感を問34で介護者の負担感、問35で介護者の支援策をたずねているが、この調査票は居宅サービスの利用者本人を対象としたアンケート調査なので、要支援の方等本人が目にするのが考えられるので、問34、問35をこのアンケートでたずねるのはどうか。むしろ、介護当事者は40代～70代が中心なので、調査②「高齢者一般調査」や調査①「第2号被保険者調査」で何う方がよいのではないか。	問34、35	問40、 41、42	何らかの介護負担について尋ねたいと考えており、委員のご指摘に沿って質問数を減らし、また、介護してよかったことも合わせて尋ねることとしました。質問数の関係から、調査①、調査②で介護負担を尋ねることはしないこととしました。
	57	介護は負担という先入観だけでなく、「親孝行できた」、「やるべきことをやった」等の選択肢があってもよいかもしれない。	問34	問41	介護負担だけでなく、「介護して良かったこと」を尋ねる質問を追加しました。
58	問34は介護者の気持ちを聞いているが、「困っていることがあるか」「腹が立つことがあるか」などマイナスのことだけ聞いている。介護は「苦しい面もあるけど、介護して良かった」という視点もあるのではないか。そのような視点が欠けていると思う。問題ばかりを明らかにするのではなく良い所もあるという視点が必要と思う。	問34	問41	介護負担だけでなく、「介護して良かったこと」を尋ねる質問を追加しました。	
59	介護の負担感はサービス利用者本人が見ない保障はないので、「介護している方がお答え下さい」という形で、別扱いにした方が問題を起こさないとと思う。	問34	問32～	調査票を別建てとすると、フェイスシートのリンク処理などが必要となり、また用紙のボリュームも増えるため、そのままとさせていただきます。	
調査⑤「介護保険 サービス施設利用 者調査」	60	施設に入所されている人への調査で、問10はサービスの満足度をたずねているが、選択肢は施設内のサービスに限定されている。本当にこれでいいのかと思った。施設に入所していても生活の幅は外にも広がっていると思うので、選択肢は施設内サービスだけでなく、外の活動も含めて聞いた方がよいのではないか。	問10	問10	必要な医療の実施があるので、看護(医療)を削除し、代わりに、入居者との交流、日課・レクリエーション、外出の3項目を追加しました。
	61	問20 施設では「説明なしに」ベッドに～～	問20	問20	修正しました。
	62	問25 「どちらになりますか」⇒「どちらを希望しますか」に修正。	問25	問25	修正しました。
	63	問25と問26は「次に移るところ」を聞き、「自宅」に帰宅される場合の問題を聞いている。新しく入れた質問ということだが、特別養護老人ホームは終の住み家と考えている人が99%であるのに、このような質問をするのは酷だと思う。老人保健施設に限定するならばよいが、特別養護老人ホームの場合はかわいそうだと思う。	問25.26	問25.26	この質問については、「老人保健施設入所者に限定して」、回答していただくようにしました。
調査⑦「在宅療養 者の介護者調査」	64	問1 ○選択肢10脊椎とは？	問1	問1	選択肢10を「脊椎損傷・脊椎疾患(変形性脊椎症など)」としました。
	65	問12 ○選択肢2の「医療依存度が高い」の表現は一般的か？「医療処置がある」とかの方がわかりやすい	問12	問12	選択肢2を「医療処置が必要な状況で」に修正しました。
	66	問13で困り事や不安に対して役にたった方法をたずねている。選択肢の「5.薬剤師」「6.かかりつけ医」を入れているが、入院先の医師、医療機関が抜けている。	問13	問13	選択肢に、「入院先の医師・医療機関」を入れました。
調査⑧「認知症に 関する意識・実態 調査」	67	F2 年齢区分設定は他と同様に「80～84」、「85～89」、「90～94」、「95歳以上」とすること。	F2	F2	年齢区分の設定を細かくしました。

府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進協議会(第2回) アンケート調査へのご意見と対応一覧 資料 2

区分	No	ご意見	旧問	新問	回答(事務局)
調査⑨「高齢者日常生活圏域ニーズ調査」	68	F9 ○選択肢に業種と就業形態が混同している。どちらを聞きたい？ 問19・20 ○相談と受診は違う。どちらを聞きたい？	F9 問19・20	F9 問20	就業形態を尋ねたもので、本選択肢は世論調査でも使用しています。相談と受診がどちらを聴きたいか、については、「相談」と「受診」を分けました。
	69	問9「収入のあるお仕事」というのは収入を聞いているのか、生きがいを聞いているのか。収入が目的であるとすると、「年金以外の収入の有無」と聞いた方が適切。(高齢者は不動産収入など比較的多い)	問9	調整中	国の調査票の通りですが、「年金以外の収入の有無」とします。(H23年度全国モデル調査では16.1%、都内他市調査では10.1%程度でした)
	70	問16「1. 病気」⇒「徒歩」の間違いではないか？	問16	問15	間違いでしたので、「徒歩」に修正しました。
	71	問16 ○選択肢1 病気?? 問53 ○睡眠が取れていることを聞きたい? 休養が取れていることを聞きたい?	問16 問53	問15 削除	「徒歩」の誤りですので修正しました。 問53は、新問が新たに追加となったため削除しました。
	72	問23「その日の活動」⇒「その日(or毎日)の生活」に修正。	問23	問25	その日の生活に修正しました。
	73	問27～36 介護の必要性を聞いているが、個々ではこれらの課題を持つ方が必要とする生活面を聞いてほしい。介護が必要な方へ介護保険制度があるが、生活が維持できない実態が今後の政策的課題であると考える。(食事)、買い物、調理、掃除、洗濯、衣類の入れ替え、庭掃除等々、問37の中身を!	問27～36	問27-1、27-2	国の新たな調査票に基づき、新たに、日常の調理や買い物に関する内容を追加しました。
	74	問49-1「②通院に介助」⇒「通院に付き添い」に修正。	問49-1	問51-1	修正しました。
調査⑩「介護保険サービス提供事業者調査」	75	問2の活動の状況で組織形態、事業所の種類と併設事業所の種類を聞いている。例えば、私の場合では事業所の種類に1つ○だとすると特別養護老人ホームに○をつけるとして、小規模多機能居宅介護などをやっている場合は、事業所の種類に○を付けることができず、併設事業所で○を付けることになる。そうすると、問3以降は特別養護老人ホームとして回答はできるが小規模多機能居宅介護の立場では答えられない。このアンケート調査はどの事業所に回答を求めているか明示しないと回答できないことになる。	問2	問2	宛名のサービス事業所に回答していただきます。本調査はサービス別に配布予定であり、併設サービスには別途調査票が郵送される、そちらで回答をお願いします。
	76	問5 ○「転職」の定義、他の介護保険事業者とは限らない。たとえば、看護師は病院等への転職もある。	問5-1	問5	転職先に、医療機関等を追加しました。
	77	問5 離職状況は常勤・非常勤(又は正職員・準職員)を分けること。(混在は調査として乱暴に思われる)	問5-1	問5	平均在職年数、昨年一年間の離職率、離職理由を常勤と非常勤の別に分かるよう表にしました。
	78	問8-1 選択肢に「利用料滞納者」を追加する。	問8-1	問7-1	選択肢13の次に利用料滞納者を追加しました。
	79	問12 選択肢に「業務管理体制整備」を追加する。	問12	問11	選択肢5の「就業環境整備」を「業務管理体制整備」としました。
	80	問14「内部研修の充実」、「サービス自己評価」、「OJT」の追加を検討する。	問14	問13	内部研修の充実、OJTの充実は選択肢5の次に追加しました。 サービス自己評価は選択肢1の第三者評価の実施に○に追加しました。
	81	災害時の体制をたずねている。問40で備の種類や量について聞いているが、調査票を渡す時期にもよるが、備の種類と量を把握している事業所はきちんと回答すると思うので、それなりのデータが得られると思う。また、その他欄もあるので、震災時の体制を考えている事業所はきちんと回答してくると思う。もう一つ、地域での受入体制についてもたずねたら良いデータが得られると思う。量が多くなるので、検討をしていただけたらと思っている。	問40	問41、42	地域との連携について、地元と町内会・自治会との防災協定、合同での防災訓練、地域の祭りや行事に参加、介護保険や認知症などのリーフレットを作成して地域に配布、などの質問を設定しました。 備蓄品は品目のみ尋ねる形式とし、食料、生活・医療用品、高齢者用品、介護用品、情報用品などに項目を分けました。 なお、福祉避難所としての指定を受けているかもたずね、備蓄品の違い等を把握します。
	82	備蓄については、問40のような質問(食料、生活用品、高齢者用品の種類と量)が全部必要だろうか。	問40	問41、42	備蓄品は品目のみ尋ねる形式とし、食料、生活・医療用品、高齢者用品、介護用品、情報用品などに項目を分けました。 なお、福祉避難所としての指定を受けているかもたずね、備蓄品の違い等を把握します。
調査⑪「介護支援専門員調査」	83	問8の後あたりに「あなたの事業所に何人のケアマネがいるか」という問いを加える。(相互のサポート体制、OJT、相談検討できる環境かを把握する)	問8	問9	問8の後に「あなたの事業所にはケアマネジャーが何人いますか」という問いを追加しました。
	84	問13は今後充実すべきインフォーマルサービスを聞いているところだが、インフォーマルなものをサービスと言って良いのか。制度化されていないものは支援であって、隣近所や家族が行うものはサービスとは言わない。例えば、選択肢2の相談・話し相手の訪問はサービスと言わないのではないのか。制度化されていない支援、インフォーマルなことを行う代表は「家族」。家族に代わって行うことは「サポート」、「支援」という表現の方が良い気がする。	問13	問15、16、17、18	「インフォーマルサービス」ではなく、「インフォーマルなケア」という言葉に置き換えました。 また「予防給付から地域支援事業への見直し」に関する制度改正の方向を受けて、生活支援、高齢者保健福祉サービス等の意向をたずねる質問を設定しました。
	85	次の問14はサービスの質が低くてケアプランに組み入れにくいサービスをたずねているが、訪問介護でも事業所によって質が違うのが実態なので、保険給付のメニューを選択肢にするのは荒っぽいと思うし、ケアマネジャーの感覚に合わないのではないのか。問20はケアマネジャーとケースワーカーや保健師との連携についての問だが、微妙な問題であり、府中市の実態はよく分からないが、通常、ケアマネジャーが保健師に頼んでもなかなか連携して貰えないことが多い。連携を頼んで結果、功を奏したか聞いた方が方がよいのではないのか。	問14 問20	問14	問14は「サービスの質が低く」という文章を削除した。また、問12と合体して、不足していると感じるサービスとしました。問20は、アンケートでは状況が分かりにくいと考え削除しました。(ケアマネジャーとケースワーカー、保健師との連携状況については、地域包括支援センター等へヒアリングすることも検討します)

府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進協議会(第2回) アンケート調査へのご意見と対応一覧 資料 2

区 分	No	ご 意 見	旧問	新問	回 答 (事 務 局)
調査⑫「医療従事者への調査」	86	○各職種ごとに調査票を分けないと答えられないのではないか。また、分析するときに、職種による意識の違いの分析ができないのではないか。 ○調査対象が病院等の場合、地域連携を担当している看護師とか医師とか指定しなくても良いのか？立場によって、意識は大きく変わると思われる。 ○問53選択肢4は医師しか受けられない研修なのに、医師以外の方が答える選択肢に入っているのはおかしいのではないか。 ○医療機関の管理者に聞くべき質問項目と各職種に聞くべき質問項目が混在しているので整理が必要。部分ごとに回答者が違って、非常に回答しにくい調査票になっている。また、部分ごとに回答者が違うので、分析をするときにしにくいのでは。全体的に見直しが必要。	全体	全体	一調査票一職種で回答していただく調査票としています。 依頼文の内容を工夫いたします。 問53も含めた、認知症に関する医療・介護と連携については、医師にたずねる部分に集約いたしました。
	87	問1に「あなた」への質問があるが、途中、問4で「あなた」が医師、歯科医師、薬剤師、看護師などに代わり、問5で「全員がお答え下さい」となって「あなた」が変わる。その後また問12からは「あなた」が医師、問20からは「あなた」が歯科医師になる。誰宛に出して誰が回答する調査なのか分かりにくい。調査票を受け取った人に回答方法を理解してもらるのが難しいのではないか。 「あなた」は誰なのか、全員とは誰なのか、分かりにくい。調査票を貰った人が答えにくくて困惑するのではないか。もう一工夫ないと答え難いと気になっていた。	問4	全体	
	88	○問43以降の「全員がお答えください」の意味がわからない。各個人対象の調査ではないのか？	問43～	全体	
その他の追加		・介護保険制度改正(生活支援・介護予防について)の内容を反映させる。 (社会保障審議会、介護保険部会平成25年9月4日資料)		全体	○府中市の介護保険制度をよくするために必要なこと ⇒「介護支援ボランティアポイント制等の新しい仕組みを考えること」を追加しました。 ○生活支援サービスについて(ケアマネジャー調査) ⇒在宅生活を支えるために充実が必要な介護支援、生活支援、高齢者保健福祉サービス(問15、16、17)を追加しました。